

2019 年を終えて

今年の1月19日(土)に「共栄子どもコンピュータ将棋教室」を始めさせていただいてから、早くも1年が経とうとしています。今日で27回目の開講となりますが、ご参加いただいた皆様におかれましては、教室での活動を通して、何かしらの得るものはありましたでしょうか。参加メンバーから、他の道場や教室、また各種大会で活躍できた!といったお話を聞かせていただく度に、嬉しく感じております。

とは言え、私自身、将棋教室を運営するのは初めてのことであり、また、平日には全く別の業務(学級担任・教科指導など)をメインで行っております。参加いただいたメンバーひとりひとりに対して、「将棋教室の先生」として十分な対応が出来たかと言われると、不完全な部分も多かったのではないかと思います。2020年もまた、これまで以上に沢山の企画を実施し続けていきたいと考えておりますので、来年からも何卒宜しくお願い致します。

両丹日日新聞の連載について

今年の4月から、毎週水曜日の両丹日日新聞に「両丹将棋講座」という将棋の連載記事を出させていただいており、12/18(水)には早くも第35回となる記事を掲載することができました。

また第24回と第33回に「懸賞問題」として詰将棋を出題させていただいた際には、新聞社の担当の方から「コンピュータ将棋教室の参加者と思われる子からの応募もありましたよ」とのご報告もいただいております。いつも読んでいただきありがとうございます。

※懸賞問題の当選者を決定する抽選などは、全て新聞社に任せており、共栄学園は一切関わっておりません

連載については来年以降も可能な限り(ネタが続く限り)続けていきたいと考えております。つきましては「自分の対局の棋譜を載せてほしい♪」「自分が作った詰将棋を出題してほしい」などございましたら、どんどんお知らせいただくと嬉しいです!

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									飛
									▲
									二
									歩
									三
									一
									四
									五
									六
									七
									八
									九
									▽

前回の連載記事の中で出題した13手詰です。是非チャレンジしてみてください♪
※解答・解説は来週の連載記事に掲載予定です♪

今年、お世話になった先生方からのメッセージです♪

野田 敬三 先生

将棋の指導をしていると、持っている力を出しきれていないと思うことが、よくあります。将棋の練習方法として、実戦ができるようになれば、基本的な詰め将棋を繰り返すことが、効果的です。そして、上達していく方が増えることを願っています。

木口 雄喬 先生

最初の将棋教室で紹介されたように、私はほとんど初心者の状態でみなさんと将棋を学び始めました。そして、皆さんの成長に負けまいとがむしゃらに取り組んでいたら、あっという間に1年がたっていました。この1年、自分が将棋を指していて、そしてみなさんが将棋を指しているのを見て一番に感じることは、とにかく「将棋は楽しい!」ということです。「好きこそもの上手なれ」ということわざがあるように、将棋を好きな気持ちを忘れずに練習していれば、きっと大きく成長できるはず。来年もこの教室でみなさんと「楽しい将棋」を指せることを心待ちにしています。

2020 年の活動予定

来年も「共栄子どもコンピュータ将棋教室」をどうぞ宜しくお願い致します!

2020年は、これまでの活動内容に加え、1月には「ご家庭でもできる♪最強将棋ソフトの導入方法」、更に2月には「現役若手プロ棋士来校!指導対局と大盤解説会」など、参加メンバーが更に楽しく、より効率良く棋力向上できる為の取り組みを実施していく予定です。楽しみにして下さい♪

1月~3月の教室開講予定



1/18(土)	1/25(土)
2/1(土)	2/15(土)
3/7(土)	3/21(土)

時間帯はいずれも14:30~16:30です。学校行事との兼ね合いで、変更となる可能性もあります。

- ※ 1/4(土)は第1土曜日ですが、学園の休業日である為、お休みとなります。その分1/25(第4土曜日)に開講いたします。
- ※ 「現役若手プロ棋士来校!指導対局と大盤解説会」を2/29(土)13時半~17時半に開催予定です。詳細については、追って連絡させていただきます。

将棋を強くなる! パソコンスキルを身に付ける! といった、明確な目的を持って参加しましょう。遊び気分が抜けない人は、次回からの参加をお断りさせていただく場合もあります。